

株式会社NFTDrive

会社説明資料



NFT-DRIVE



Agenda

1

MESSAGE FROM THE CEO

2

WORKS OF THE CEO

3

OUR MISSION

4

OUR VISION

5

BUSINESS SOLUTION

6

OUR Service

7

ABOUT US

1.MESSAGE FROM THE CEO

NAKASHIMA MICHIO

CEO & FOUNDER

私が開発したNFTDriveというプラットフォームは、人々が絶対に消したくないデータを恒久的に保存し、その存在を証明しつつ後世に残していくことができるサービスです。単一の事業会社や組織が運営しているストレージサービスは、いくら冗長化されているからといっても、組織の終焉とともに管理しているデータも消えてしまうリスクがあります。こういったリスクへの解決策の一つとしてDAOが運営しているブロックチェーンのノードを活用すれば、世界中に分散された状態で管理されるため、単一の障害点を回避することができます。まだまだ新しい考え方ですので、世の中に受け入れられるには時間がかかるとは思いますが、しかし、今を生きる人々が文化、歴史、研究などあらゆる価値のあるものを残していくことに役立てていきたいと考えています。





2. WORKS OF THE CEO

さくら繋ぎ

ブロックチェーンアート

「桜繋ぎ」を開発。

NPO法人NEMTUSによる

3.11東日本大震災復興寄付プロジェクトで使用されました。



暗号資産で寄付をすると綺麗な桜が
咲くと共にblockが生み出されます。

風雲ボー太郎モニター

コミュニティによるブロックチェーンに対する負荷テストで
Transactionをモニターするプログラムを開発公開。



3. OUR MISSION



人々が絶対に消したくないデータを恒久的に保存し、その存在を証明し
つつ後世に残していくこと

それは研究、文化、歴史、思い出、愛...

4. OUR VISION



未来のデータアーカイブのデファクト・スタンダードとして、
ブロックチェーンが活用される社会を創ること

5. BUSINESS SOLUTIONS

NFTDrive NOAH

2024年ローンチ(予定) ビジネスドキュメントのアーカイブサービスです。

NFTDrive 隼(HAYABUSA)

2023年3月ローンチ(予定) いくつかのパーツを用意するだけでフルオンチェーンのジェネラティブNFTを作成することができるツールです。

NFTDrive EX

PC、スマートフォン上で場所を選ばずNFTやトークンの交換ができる拡張性の高い専用ウォレットです。

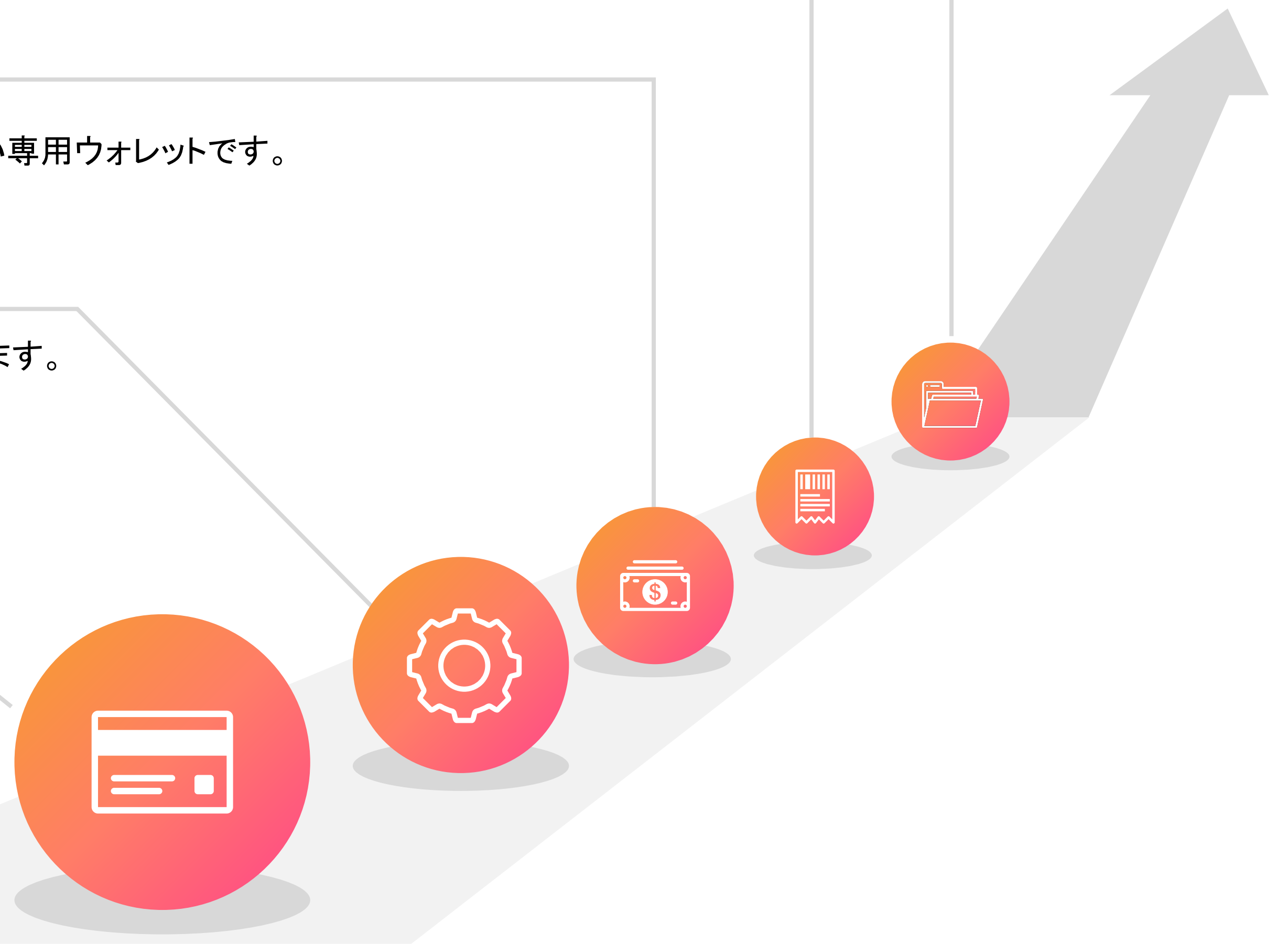
NFTDrive RPA

NFTDriveの操作を自動化するRPAツールです。NFTを大量生産する際に役立ちます。

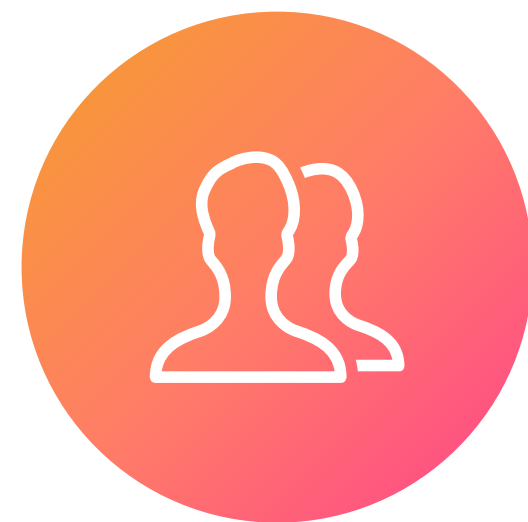
NFTDrive

フルオンチェーンNFTを発行することができるプラットフォームです。

大切なデータ保存するアーカイブ目的で利用することもできます。



6. OUR SERVICES



コンサルティングサービス

会社のビジネスにブロックチェーンを活用する際に必要となる技術的な課題に対する最適解と対応方針の助言を行うコンサルティングサービスを提供いたします。



NFTDrive利用サービス

NFTDriveサービス群を提供します。利用するサービスに応じてお見積りしますので、法人様・団体様はお問合せ下さい。



グッズ販売サービス

NFTDrive公式グッズとして、擬人化のシオンちゃん(Created by東城みな先生)や筋肉マスクマンのYD(Created by齊藤幸延先生)を初めとしたオリジナルキャラクターのグッズ販売をいたします。

7. CONTACT US

ADDRESS

〒600-8846京都府京都市下京区朱雀宝蔵町44番地
協栄ビル2階 京都朱雀スタジオJ-506 株式会社NFTDrive

HOURS

Mon-Fri 8AM to 5PM Weekends closed

E-MAIL

info@nftdrive.net

WEBSITE

<https://nftdrive.net>

TWITTER

[@nftdrive_jp](https://twitter.com/nftdrive_jp)

FACEBOOK

Coming soon

Appendix

フルオンチェーンNFT発行(個人) 事例1

クリエイターの皆様がNFT化し、ご自身の作品を様々なプラットフォーム上で自由に売買しています。



作品タイトル:「永遠に消えない時を刻む少女」by 東城みな

2022/1/15 45,600XYM(日本円換算約103万円)で Twitter ID:
@kingcabochanceさんが落札されました。



フルオンチェーンNFT発行(個人) 事例2

クリエイターの皆様がNFT化し、ご自身の作品を様々なプラットフォーム上で自由に売買しています。



作品タイトル:
「BlockChainShootingGame」
by feiton

2022/10/27 シューティングゲームそのものがブロックチェーン上に保存されています。これは、世界発の偉業です。

<https://opensea.io/ja/assets/ethereum/0x2672772bd99ea229ce87cb7b169aa95d2e36e2dc/0>

フルオンチェーンNFT発行(個人) 事例3

クリエイターの皆様がNFT化し、ご自身の作品を様々なプラットフォーム上で自由に売買しています。



**作品タイトル:「Connection」
by Mahorobart**

2022/10/5 音楽とアートの両方がブロックチェーン上に保存されています。

<https://opensea.io/ja/assets/ethereum/0x6e454c2ced3e7b9143d2c838fe2769cde79039a4/3>



フルオンチェーンNFT発行(企業・団体) 事例4

多くの企業や団体から支援の依頼を頂いてます。一部をご紹介します。



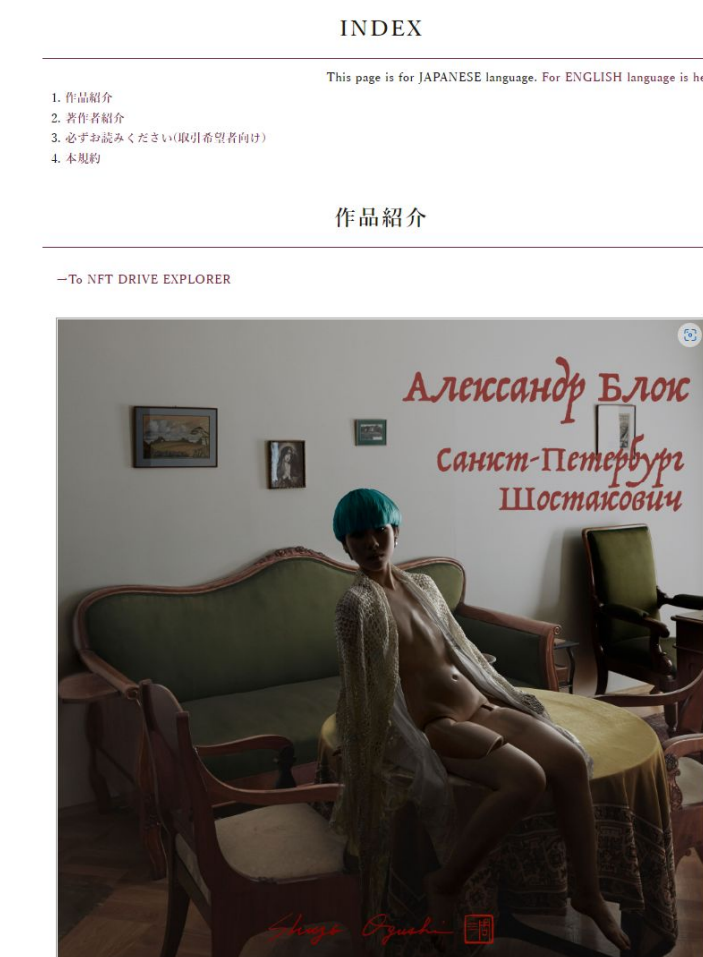
- ・ 味データの世界初フードNFTの発行
- ・ テレビ東京「Newsモーニングサテライト」にてフードNFTが放送！



- ・ 人々の大切なものを永遠に保存するNFTサービス『Heartlog』をローンチ
- ・ NFT漫画『じむコミ XYMcomic』連載開始！



- ・ ブロックチェーン技術を用いたプロフェッショナル写真アート作品
- ・ 新サービス(名刺NFT)開発中



NFT事業の立上支援 事例5

沖縄における観光産業をはじめとした、沖縄産業振興発展に貢献すべくPalette Link Okinawa, LLC様に対して、ブロックチェーン技術支援を開始しました。


Palette Link Okinawa, LLC

[HOME](#)
[ABOUT](#)
[事業内容](#)
[会社概要](#)
[FAQ](#)

[ホーム](#) ▶ [TOPICS](#) ▶

パートナー契約を締結いたしました！！

🕒 2022年10月22日
🔄 2022年10月23日

Partnership




SHARE





これが驚異のフルオンチェーンNFT

Partnership




パートナー契約を締結いたしました！！



合同会社パレットリンク沖縄です！

データアーカイブ 事例6

後世に残すべき価値のある資産(歴史的遺産、伝統工芸、アート作品等) を世界中に分散同期されているサーバ(ブロックチェーン)上にアーカイブします。



歴史的遺産

戦争の歴史等、世界的に語り継いでいく価値のある歴史的遺産をアーカイブ化し、残していきます。



伝統工芸

完成品の作品だけでなく、その作成手順や修復手順等、後世に伝えていく技術をデジタルデータ化し、保存します。



アート作品

著作権切れの過去のアートを恒久的に残すためのアーカイブ化や、未発表・未販売で所有権を証明しつつ残しておきたいアート等、様々な思いのある作品に対して、アーカイブ化することができます。



フルオンチェーンNFTの対応するファイル拡張子

現在対応している拡張子は、以下の通りです。

画像

GIF、JPEG、PNG、SVG

音楽

MIDI、MP3

動画

MP4

その他

テキスト、PDF、HTML(CSS Javascript)

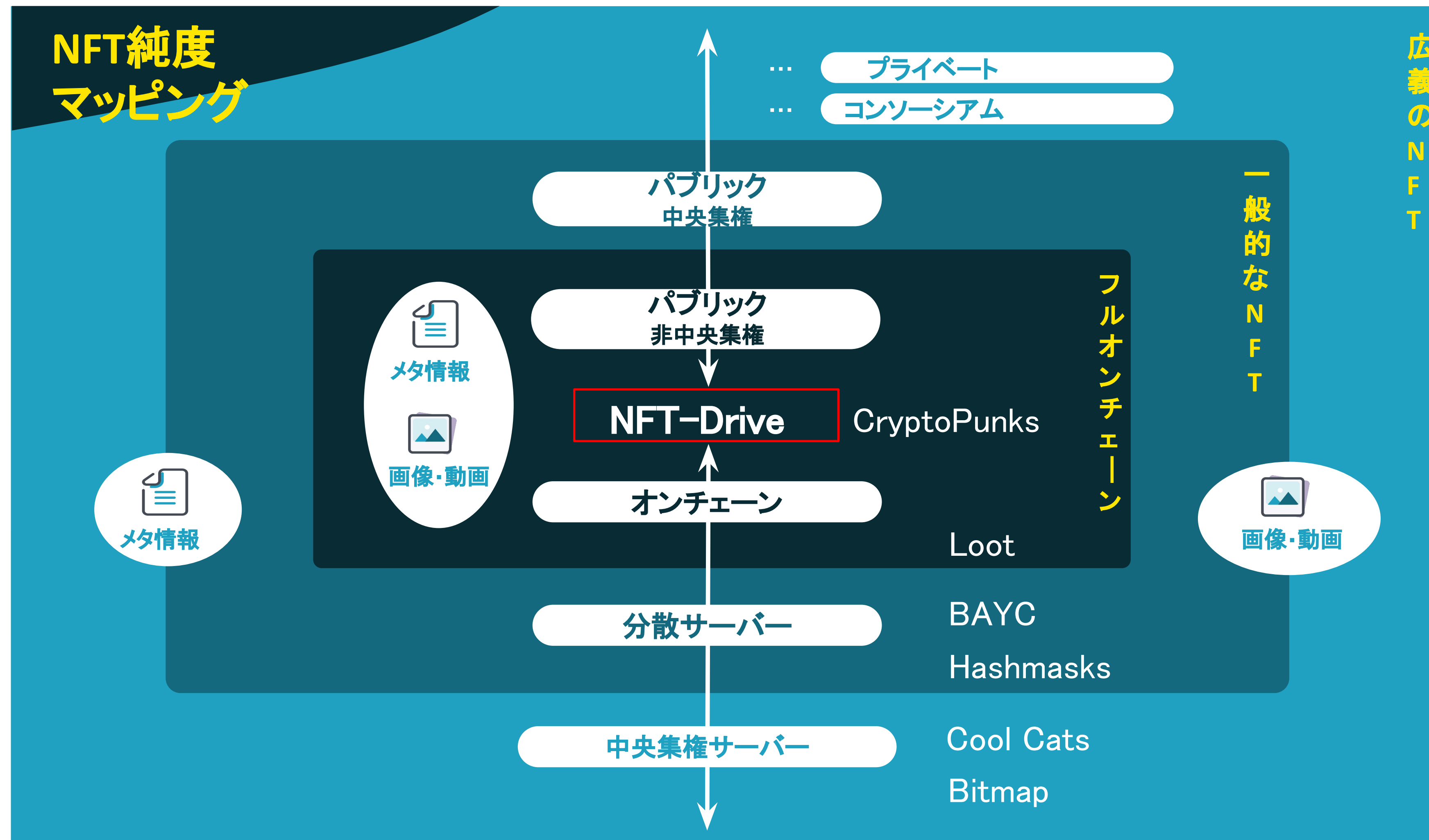
※NFT-Driveにて動作確認済みのファイル形式

※アーカイブ目的であれば、全てのデジタルデータを対象としています。



NFTの純度について

NFTはトークンとデータの紐づけが強固なものほど、**純度の高いNFT**と呼ばれています。



NFT-Driveの特徴①

「CryptoPunks」と同じフルオンチェーンNFTですが、特許技術でもある秘密鍵を破棄することにより、データそのものを改竄できない仕組みとなっており、より純度の高いNFTと言えます。

NFT-Driveの特徴②

単一チェーン、単一トークン上でNFT化されているものほど、トークンとデータの紐づけが強く、NFTの純度が高いと言えます。NFT-Driveが生成するNFTは、どちらも単一チェーン上で生成されています。



特許出願中

特許出願技術による唯一性の担保
ブロックチェーン上にデータをアーカイブ化し、その後、秘密鍵を破棄することにより誰にも改竄することができない絶対的なデータを作り出すことができます。

これは、秘密鍵を破棄しない従来の方法では、NFTを販売するNFT事業者側が、NFT購入者にトークンを送付するまでの間、NFT事業者側でメタデータを書き換えることができてしまう(書き換えることが可能な状態にある)問題に対する技術アイデアとなります。

特許出願資料より抜粋

整理番号:P21021 特願2021-143574 (Proof) 提出日:令和 3年 9月 2日 1/E

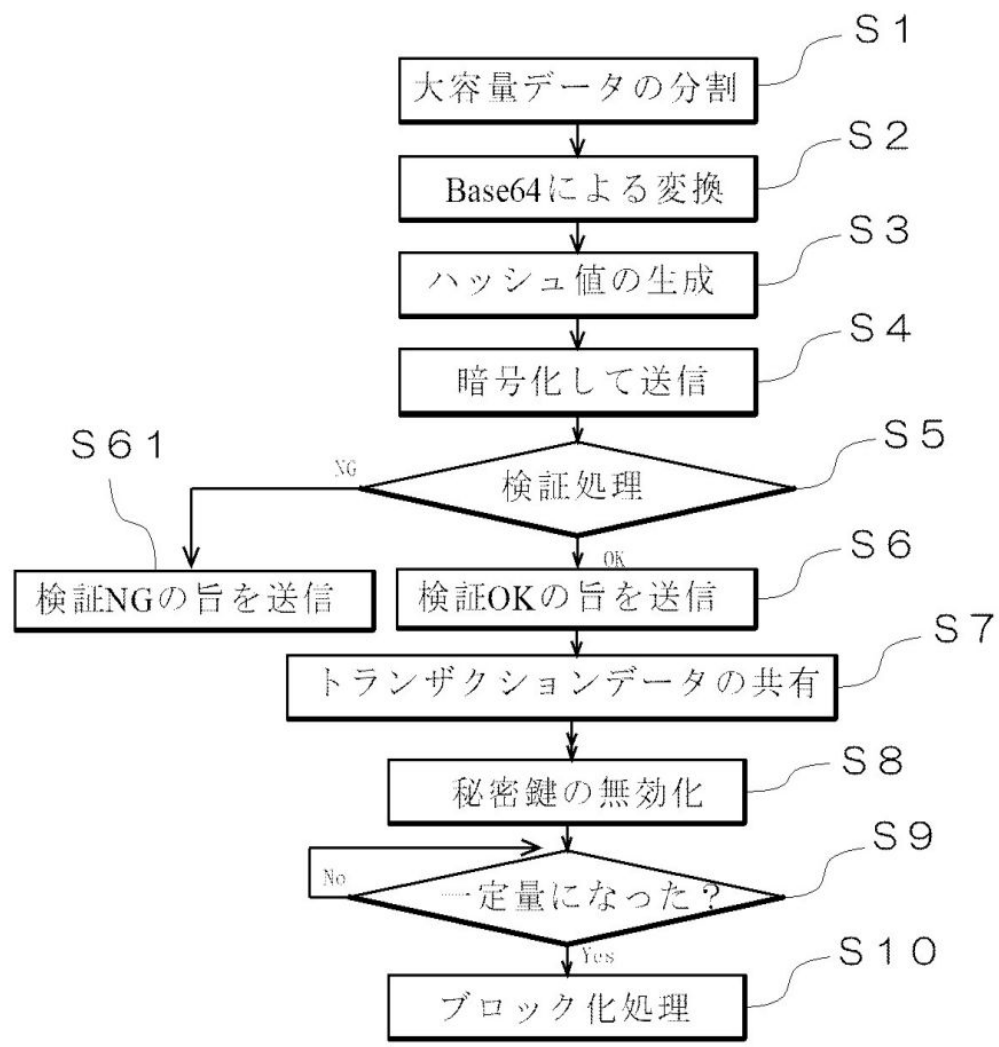
【書類名】 特許願
【整理番号】 P21021
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 G06F 16/13
【発明者】
【住所又は居所】
【氏名】 中島 理男
【特許出願人】
【住所又は居所】
【氏名又は名称】 中島 理男
【代理人】
【識別番号】
【弁理士】
【氏名又は名称】
【手数料の表示】
【指定立替納付】
【納付金額】
【提出物件の目録】
【物件名】
【物件名】
【物件名】
【物件名】

整理番号:P21021 特願2021-143

【書類名】 明細書
【発明の名称】 ブロックチェーンを
【技術分野】
【0001】
本発明は、ブロックチェーンを用
像や映像などの大容量データを改ざ
関するものである。
【背景技術】
【0002】
一般的に、ブロックチェーンを用
のような方法で処理が行われる。
【0003】

まず、ビットコインを取引するためのトランザクションデータが発生した場合、そのトランザクションデータを取引者が秘密鍵を用いて暗号化し、検証者による公開鍵を用いた検証が行われた後、ネット上に公開される。そして、その検証の行われたトランザクションデータが、システム上で一定の容量に達した場合に、特定のノードによって、そのトランザクションデータをまとめたブロックが生成される。このブロックを生成する際には、直前に生成されているブロックから生成されるハッシュキーを含ませおき、直前のブロックのデータを改ざんできないようにしておく。

整理番号:P21021 特願2021-143574 (Proof) 提出日:令和 3年 9月 2日 5/E
【図7】





公正証書取得済み

公正証書の取得による第三者目線での手順の証明

特許出願した内容を実現手順し、公証人立ち合いの元実証実験を行うことで、本技術を第三者により証明頂きました。

公正証書資料より抜粋

公正証書

正本

令和4年 第 56 号

改ざん防止措置の施されたデータをブロックチェーン上に作成保存する技術に関する事実実験公正証書

本公証人は、令和4年3月1日、嘱託人中島理男の以下の趣旨による嘱託に基づき、本公証人役場において、嘱託人が、ブロックチェーンプログラムを利用して、改ざん防止措置の施されたデータをブロックチェーン上に作成保存する技術について、現認した事実を録取してこの証書を作成する。

嘱託の趣旨

嘱託人の嘱託の趣旨は、ブロックチェーンプログラムを利用して、ブロックチェーン上に、大容量データ（画像等）を分割して送信し、同データをブロックチェーン上に保存した後、同データの送受信（通信）に使用された秘密鍵を破棄等することにより、改ざん

チェーン上に改ざん防止措置の施されたデータを作成保存することに成功し、先使用権があることを立証する必要がある。そこで、同日現在、フルオンチェーン技術により、改ざん防止措置の施されたデータをブロックチェーン上に作成保存できることを証明するため、本公証人立会の下に、嘱託人は、同人所有のパソコンを操作使用して、ブロックチェーンプログラムである「Symbol-NFT-Drive」（以下「Symbol」ブロックチェーンプログラムという。）のメインネットを使用して、フルオンチェーン技術により、改ざん防止措置の施されたデータをSymbolブロックチェーン上に作成保存する過程をパソコンに表示させるとともに、この過程を表示したSymbolブロックチェーンプログラムのログをプリントアウトし、公証人が、その状況を現認し、これをその事実実験の状況に録取した公正証書を作成することを嘱託する旨にある。

事実実験の状況



令和4年 第 56 号

改ざん防止措置の施されたデータをブロックチェーン上に作成保存する技術に関する事実実験公正証書

本公証人は、令和4年3月1日、嘱託人中島理男の以下の趣旨による嘱託に基づき、本公証人役場において、嘱託人が、ブロックチェーンプログラムを利用して、改ざん防止措置の施されたデータをブロックチェーン上に作成保存する技術について、現認した事実を録取してこの証書を作成する。

嘱託の趣旨

嘱託人の嘱託の趣旨は、ブロックチェーンプログラムを利用して、ブロックチェーン上に、大容量データ（画像等）を分割して送信し、同データをブロックチェーン上に保存した後、同データの送受信（通信）に使用された秘密鍵を破棄等することにより、改ざん防止措置の施されたデータをブロックチェーン上に作成保存する技術（以下「フルオンチェーン技術」という。）について、将来特許権に関する紛争が生じる可能性があることから、令和4年（2022年）1月7日現在、フルオンチェーン技術に基づきブロック

公証人役場

Thank you